

美幌町における景気動向調査報告書

＜ 第 II 四半期 ＞

美幌商工会議所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成29年7月

(2) 調査対象期間 平成29年4月～6月期実績及び7月～9月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

(1) 景気動向調査

会員事業所の中から小売業、サービス業、製造業、建設業、卸売業の5業種100事業所に対しアンケート方式により調査した。

○ 本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値を示す。

業種別D I

| 業況(%) | 今期(2017年4月～6月)の実績 (前期比) | | | | 2017年7月～9月の見通し (今期比) | | | |
|-------|----------------------------|------|------|--------|-------------------------|-------|------|-------|
| | 好転 | 不変 | 悪化 | D I 値 | 好転 | 不変 | 悪化 | D I 値 |
| 全業種 | 35.7 | 46.4 | 17.9 | +17.8 | 14.3 | 71.4 | 14.3 | ±0.0 |
| 小売業 | 14.2 | 42.9 | 42.9 | -28.7 | 14.3 | 57.1 | 28.6 | -14.3 |
| 建設業 | 44.4 | 44.5 | 11.1 | +33.0 | 11.1 | 77.8 | 11.1 | ±0.0 |
| 製造業 | 50.0 | 33.3 | 16.7 | +33.3 | 16.7 | 66.6 | 16.7 | ±0.0 |
| サービス業 | 20.0 | 80.0 | 0.0 | +20.0 | 20.0 | 80.0 | 0.0 | +20.0 |
| 卸売業 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | +100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | ±0.0 |

| 売上高(%) | 今期(2017年4月～6月)の実績 (前期比) | | | | 2017年7月～9月の見通し (今期比) | | | |
|--------|----------------------------|------|------|--------|-------------------------|-------|------|-------|
| | 増加 | 不変 | 減少 | D I 値 | 増加 | 不変 | 減少 | D I 値 |
| 全業種 | 39.3 | 35.7 | 25.0 | +14.3 | 17.9 | 67.8 | 14.3 | +3.6 |
| 小売業 | 14.3 | 28.6 | 57.1 | -42.8 | 14.3 | 57.1 | 28.6 | -14.3 |
| 建設業 | 55.6 | 22.2 | 22.2 | +33.4 | 22.2 | 66.7 | 11.1 | +11.1 |
| 製造業 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | +50.0 | 16.7 | 83.3 | 0.0 | +16.7 |
| サービス業 | 20.0 | 60.0 | 20.0 | ±0.0 | 20.0 | 60.0 | 20.0 | ±0.0 |
| 卸売業 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | +100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | ±0.0 |

※ 建設業は「完成工事高」、製造業は「生産高」を表す。

| 在庫水準 (%) | 今期 (2017年4月～6月) の実績 (前期比) | | | |
|-------------|------------------------------|-------|------|-------|
| | 過大 | 不変 | 不足 | D I 値 |
| 全業種 | 21.4 | 57.2 | 21.4 | ± 0.0 |
| 小売業 | 28.6 | 42.8 | 28.6 | ± 0.0 |
| 建設業 | — | — | — | — |
| 製造業 | 0.0 | 83.3 | 16.7 | -16.7 |
| サービス業 | — | — | — | — |
| 卸売業 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | ±0.0 |

| 採算 (%) | 今期 (2017年4月～6月) の実績 (前期比) | | | |
|--------|------------------------------|------|------|--------|
| | 好転 | 不変 | 悪化 | D I 値 |
| 全業種 | 25.0 | 46.4 | 28.6 | - 3.6 |
| 小売業 | 0.0 | 28.6 | 71.4 | -71.4 |
| 建設業 | 20.0 | 80.0 | 0.0 | +20.0 |
| 製造業 | 16.7 | 66.6 | 16.7 | ± 0.0 |
| サービス業 | 0.0 | 66.7 | 33.3 | -33.3 |
| 卸売業 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | +100.0 |

| 資金繰り (%) | 今期 (2017年4月～6月) の実績 (前期比) | | | | 2017年7月～9月の見通し (今期比) | | | |
|-------------|------------------------------|------|------|--------|-------------------------|-------|------|-------|
| | 好転 | 不変 | 悪化 | D I 値 | 好転 | 不変 | 悪化 | D I 値 |
| 全業種 | 17.9 | 50.0 | 32.1 | -14.2 | 7.1 | 78.6 | 14.3 | - 7.2 |
| 小売業 | 0.0 | 28.6 | 71.4 | -71.4 | 14.3 | 71.4 | 14.3 | ± 0.0 |
| 建設業 | 11.1 | 55.6 | 33.3 | -22.2 | 0.0 | 77.8 | 22.2 | -22.2 |
| 製造業 | 16.7 | 66.6 | 16.7 | ± 0.0 | 0.0 | 83.3 | 16.7 | -16.7 |
| サービス業 | 40.0 | 60.0 | 0.0 | +40.0 | 20.0 | 80.0 | 0.0 | +20.0 |
| 卸売業 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | +100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | ±0.0 |

Ⅱ. 概 況

《 全体の動き 》

平成29年第Ⅱ四半期<4月～6月>の美幌町における業況は、全業種で見ると前期比（1月～3月）で「好転した」と答えた企業割合が35.7、「悪化した」と答えた企業割合が17.9、「好転」から「悪化」を差引いたD・I値は+17.8となっており前期（1月～3月）D・I値△23.3から見ると41.1ポイントと大きく改善されました。

業況のD・I値を業種別で見ると、小売業のみが△28.7とマイナスになっておりますが、その他の業種の建設業+33.3、製造業+33.3、サービス業+20.0、卸売業+100となっており好調のようであります。

前期（1月～3月）と比較すると小売業のみが0.2ポイント悪化しており、製造業49.9ポイント、建設業51.4ポイント、サービス業20ポイントそれぞれ回復しております。

また、来期（7月～9月）の見通しを全業種で見ると「好転する」と答えた企業割合と「悪化する」と答えた企業割合が共に14.3、D・I値は±0となっており、今期と比較し17.8ポイント悪化する見通しのようです。

また、経営上の問題点では全業種で「人材不足」、「得意先の減少」が上位であり、「諸経費の増加」については「社会保険料・時間外手当（割増賃金）」の負担増加との意見がありました。

< 業 種 別 の 動 き >

1) 小 売 業 売上高 前期（1月～3月）と比較して「増加した」と答えた企業割合が14.3、「減少した」と答えた企業割合が57.1でD・I値は△42.8、来期（7月～9月）の見通しをみると、「増加する」と答えた企業割合が14.3、「減少する」と答えた企業割合が28.6であり、D・I値が△14.3となっており、多少の売上高の増加は見込めるようです。

資金繰り 前期比（1月～3月）で「好転した」と答えた企業割合は0、「悪化した」と答えた企業割合が71.4、D・I値△71.4、来期（7月～9月）の見通しをみると、「好転する」と答えた企業割合と「悪化する」と答えた企業割合が共に14.3となっておりD・I値は±0であり、売上高の増加が見込まれない中、資金繰りについても売掛金の回収難等の理由により改善されないと予測しているようです。

2) 建 設 業 完成工事高 前期比（1月～3月）で「増加した」と答えた企業割合が55.6、「減少した」と答えた企業割合が22.2であり、D・I値が+33.4、来期の見通しをみると「増加する」と答えた企業割合が22.2、「減少する」と答えた企業割合が11.1、D・I値+11.1となっており、工事高については好調のようです。

2) 建設業 資金繰り 前期比（1月～3月）で「好転した」と答えた企業割合が11.1、「悪化した」と答えた企業割合が共に33.3、D・I値△22.2、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合0、「悪化する」と答えた企業割合が22.2、D・I値△22.2となっており、今期と同様に資金繰りについては厳しいようです。

3) 製造業 生産高 前期比（1月～3月）で「増加した」と答えた企業割合が50.0、「減少した」と答えた企業割合が0、D・I値+50.0、来期の見通しをみると「増加する」と答えた企業割合が16.7、「減少する」と答えた企業割合が0、D・I値+16.7となっており生産高は好調のようです。

資金繰り 前期比（1月～3月）で「好転した」と答えた企業割合と「悪化した」と答えた企業割合が共に16.7、D・I値±0、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が0、「悪化する」と答えた企業割合が16.7、D・I値△16.7となっており、生産高の増加が見込まれますが、資金繰りについては厳しい状況であると予測されています。

4) サービス業 売上高 前期比（1月～3月）で「増加した」と答えた企業割合と「減少した」と答えた企業割合が共に20.0、D・I値±0、来期の見通しも同様であり今季と大きな変化はないようです。

資金繰り 前期比（1月～3月）で「好転した」と答えた企業割合が40.0、「悪化した」と答えた企業割合が0、D・I値が+40.0、来期の見通しは「好転する」と答えた企業割合が20.0、「悪化する」と答えた企業割合が0、D・I値+20.0となっており売上高に変動はなく資金繰りについても安定すると予測されているようです。

5) 卸売業 売上高 前期比（1月～3月）で「増加した」と答えた企業割合が100.0であり、D・I値+100.0、来期の見通しは「不変」と答えた企業割合が100.0であり今季同様に売上高は増加すると予測されています。

資金繰り 前期比（1月～3月）で「好転した」と答えた企業割合が100.0、来期の見通しは「不変」と答えた企業割合が100.0であり、資金繰りについても安定しているようです。

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

| | 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 | 5 位 |
|-------|---------|------------------------------|---------------------|-----|-----|
| 小 売 業 | 得意先の減少 | 諸 経 費 の 増 | 消費税増税／資金調達困難／売掛金回収難 | | |
| 建 設 業 | 人 材 不 足 | 得意先の減少／消費税増税／資金調達困難／／同業者間の競合 | | | |
| 製 造 業 | 人 材 不 足 | 同業者間の競合／得意先の減少／諸経費の増 | | | |
| サービ業 | 人 材 不 足 | 諸 経 費 の 増／人 件 費 の 増 | | — | — |
| 卸 売 業 | 得意先の減少 | — | — | — | — |